新光商事 株式
会社
Shinko Shoji Co., Ltd.

2022年3月期 第2四半期決算説明資料

- 決算の概要
- 当社のビジネス状況
- 社会に貢献するソリューション提案
- 通期の見通し

2021年11月9日

代表取締役社長 小川 達哉

資料取り扱い上の注意

このプレゼンテーション資料で述べられている当社の将来に関する見通しは、
現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいること
から、実際の業績は大きく異なる結果となることがあります。
それらのリスクや不確定要素の主なものは、以下のとおりです。

- ・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向
- ・エレクトロニクス産業の業界動向・技術トレンド等の変化
- ・当社の主要製品市場における需給の急激な変動
- ・ドル等外国通貨の対円為替相場的大幅な変動

第2四半期決算の概要

2022年3月期 第2四半期決算のポイント

当社グループ（当社及び連結子会社）は、主要分野の産業機器関連・自動車電装機器関連・O A 機器関連・娯楽機器関連いずれも対前年同期比を大幅に上回る業績となりました。

- 産業機器関連は、産業用ロボット向け、半導体製造装置向けの販売が好調に推移いたしました。
- 自動車電装機器関連は、各自動車メーカーの生産回復の影響を受け、好調に推移いたしました。
- O A 機器関連は、新生活様式への変化に伴うO A 機器需要拡大の影響により、好調に推移いたしました。
- 娯楽機器関連は、前年同四半期は新型コロナウイルス感染拡大の影響により市場が冷え込みましたが、今期は回復基調で推移いたしました。

第2四半期決算の概要

(百万円)

	2021年3月期 第2四半期 実績	2022年3月期 第2四半期 実績	増減率 (前年同期比)	増減額 (前年同期比)
売上高	43,924	58,590	33.4%	14,666
売上総利益	4,087	5,214	27.6%	1,127
販売管理費	3,781	4,081	7.9%	300
営業利益	305	1,132	270.5%	827
経常利益	345	1,145	231.2%	800
第2四半期純利益	188	800	325.6%	612
1株当たり 四半期純利益	5円07銭	21円56銭	—	16円49銭

分野別売上構成

【2021年3月期】第2四半期

【2022年3月期】第2四半期

円グラフ (外枠) 数値 : 億円単位

分野別売上構成（金額対比）

売上高推移

前年同期比 事業別売上増減

売上総利益/売上総利益率 推移

【第2四半期実績】

営業利益/営業利益率 推移

【第2四半期実績】

連結損益計算書

(単位：百万円)

2021年3月期第2四半期

(2020年4月1日～2020年9月30日)

2022年3月期第2四半期

(2021年4月1日～2021年9月30日)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

第2四半期 (2021年4月1日～2021年9月30日)

当社のビジネス状況

当社のビジネス状況

1. ルネサスエレクトロニクスのビジネス状況
2. 海外のビジネス状況
3. 当社コアマーケットのビジネス状況

1-1.ルネサスエレクトロニクスのビジネス状況

【ルネサス製品 売上推移】（連結消去前）

1-2.ルネサスエレクトロニクスのビジネス状況

【分野別売上 前年度比較】（連結消去前）

【21年3月期第2四半期実績】

【22年3月期第2四半期実績】

円グラフ（外枠）数値：億円単位

2.海外ビジネスの状況について

【海外現地法人 売上推移】

3-1.当社コア・マーケットの売上推移

3-2.産業機器事業の売上推移

※産業分野に含まれる顧客

産業用ロボット、工作機械、半導体製造装置、医療機器、スマートメーター等

3-3.自動車電装機器事業の売上推移

3-4.OA機器事業の売上推移

3-5. 娯楽機器事業の売上推移

社会に貢献するソリューション提案

1. 社会に貢献するビジネス領域

新光商事は、持続可能な社会に貢献し、お客様の成功のため、製品提供、最適物流提案はもとより、技術サポート、開発コーディネーション、EMS事業、海外展開等ご要望に合わせたビジネスソリューションをご提案いたします。

2.マイコンによるAI開発支援ソリューション

マイコンで制御できるAI導入を“より簡単・快適”に実現するソリューションの提供

ウェアラブル機器や各種端末機器で活用が期待されるAI技術の導入に最適な、開発ソリューションを提供開始

マイコンによるAI活用のメリット

AIがマイコンだけで**複雑な動作の状態を判別可能**

マイコンのみ
簡単動作判別

GO/STOPの簡易状態の
検出は容易

止まる 動く

マイコン基本構成イメージ

マイコン+AI
詳細動作判別

振動などの時系列データ変化から
複雑な状態判別が可能

歩く 走る 跳ぶ 転ぶ 自転車

マイコン+AI実装構成イメージ

提供するAI開発環境ソリューション

- 使い慣れたルネサスマイコンの開発環境が使用可能
- AI学習支援ツール「SensiML」でAIの状態判別実現
- 当社オリジナルの開発手順書によりAI導入が簡単・快適

開発環境ソリューション概要

ボード型名 : EK-RA4W1(ルネサスマイコン搭載)
 センサ型名 : PMOD NAV
 開発環境 : e2 studio
 AI判別SW : SensiML
 開発手順書 : 新光商事オリジナル

初めてマイコンAIを
導入される方向け

← 当社オリジナル・デモ機
(ファンモータ状態検知)

3. 先進運転支援への高解像度カメラを活用したビジネス開発

日々進化する先進運転支援に、高解像度カメラ評価環境の提供開始(11月～)

高解像度カメラと画像認識AIによる高い検知性能を提供、お客様のカメラシステムの安全性能向上に貢献

車載センシングカメラへのビジネス開発

○ターゲット市場・セット

先進運転支援の画像認識カメラシステム（フロントカメラ等）

⇒走行時に進行方向の障害物等を検知するカメラシステム

【高解像度カメラ評価環境】

- ・高解像度カメラ+画像認識AIを直ぐに評価可能
- ・広角(最大120°)/長距離(最大160m)まで車の認識が可能
- ・画像認識AIで、歩行者/二輪/車/標識/信号/白線/フリースペースなどを検知可能

※画角、認識距離は認識AIメーカーでの現在の評価結果(改善調整中)

高解像度カメラ
(8M Pixel)

高解像度カメラ用
電子制御ユニット

Xilinx® Zynq® UltraScale+™ MPSoC

- 8M Pixel画像処理
- 画像認識AI

今後の計画

1. ターゲット市場・セットの拡大

高解像度カメラ、画像認識が必要なシステムへの展開

例) 道路監視カメラ (広角/高速処理)

⇒多数の対象を検知

(歩行者/二輪/車など)

2. 機能の拡張

画像処理IP(画像前処理)を搭載し
認識精度を上げ、更なる安全性能向上をはかる

※© Copyright 2021 Xilinx Inc.、ザイリンクスの名称およびロゴ、Zynq、およびその他ブランド名は米国およびその他の各国のザイリンクスの登録商標または商標です

4.【感染対策EXPO】新光商事オリジナル開発製品：ノータッチフレームW

幕張メッセで行われました「第1回 感染対策EXPO 10月13日～15日」に当社製ノータッチフレームWが株式会社明光商会様ブースにて出展されました。

明光商会様には、ニューノーマル時代にお客様が安心して利用できる後付け可能な非接触操作ユニット「ノータッチフレームW」をご採用いただきました。

明光商会様の「MSボイスコールNEO（自治体・病院向け発券端末）」は、既に設置済の自治体や病院から好評価をいただいております。

当社は、パートナー企業様と共に、感染症対策ソリューションを社会に広め、貢献してまいります。

(明光商会様のWebサイトより引用)

5.株式会社 JR東日本情報システム様の情報案内端末に採用され、実証実験スタート

株式会社JR東日本情報システム様により

当社オリジナル開発製品「**ノータッチフレーム®**」

搭載インフォメーション筐体が

JR東日本 東京駅 丸の内中央改札口に設置

11月1日 実証実験スタート

※インフォメーションは、周辺案内・店舗情報などを音声で認識し回答します。

当社は「非接触」をキーワードとして、社会に貢献し、感染症対策に取り組んでまいります。

2022年3月期の見通し

通期業績見通し

(百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 見込	増減率 (前年同期比)	増減額 (前年同期比)
売上高	102,898	130,000	26.3%	27,102
営業利益	1,543	2,600	68.4%	1,057
経常利益	1,561	2,600	66.5%	1,039
当期純利益	1,255	1,700	35.4%	445
1株当たり 当期純利益	33円86銭	45円79銭	—	11円93銭

通期業績見通し（半期別売上高推移）

当社の配当方針

◆配当方針（中長期政策）

当社は株主の期待するリターンに応えるべく、株主に対する利益還元を重視し、資本コストを意識した経営基盤維持とサステナビリティを同時に実施して行きます。このため配当金額と自己株式取得金額をあわせた株主総還元額を基準とし、現中期計画（2020年3月期から2022年3月期までの3期間においては、総還元性向（注）を100%以上とします。

（注） 総還元性向 = $(\text{配当金額} + \text{自己株式取得価額}) \div \text{連結純利益} \times 100$

株主還元について

● 1株当たり配当金

	1株当たり配当金			連結総還元性向
	第2四半期末	期末	合計	
2022年3月期予想 (2021年10月13日公表)	23円	23円	46円	100.5%
前期実績 (2021年3月期)	14円	20円	34円	100.4%

連絡先

新光商事株式会社

取締役 一色 修志

Tel: 03-6361-8062

Fax: 03-5437-8481

E-mail: shuji.issiki@st.shinko-sj.co.jp

住所 : 〒141-8540

東京都品川区大崎 1-2-2

アートビレッジ大崎セントラルタワー13階

HP: <http://www.shinko-sj.co.jp>